



## こども食堂 北海道ネットワーク 通信

12月となりました。一度は解けると思われた雪もこのまま根雪となるかも知れませんね。コロナは上がったり下がったり油断はできませんが、これから一か月、子どもたちにとって是一年でのメインイベント、クリスマス、お正月がやってきます。楽しく過ごしてもらいたいと心から願います。

### 居場所「おんくりの家」開設！！

12月3日(土)、江別市大麻町商店街(江別市大麻町3-16)に新規開設した「おんくりの家」を訪ねました。ここは北翔大学で社会福祉学(コミュニティ・ワーク)を教えている岩本希さんが商店街のみなさんのお力を借り、開設された場です。北翔大学子ども食堂・地域食堂を担当している岩本さんですが、新たに子ども・大人・高齢の方、障がいのある方、どなたでも集えるみんなの居場所として始められました。この日は開設

当日で、オープニングフェスティバルが開かれ、大変な人出、カレーライスや飲み物が提供され、昼の間では小学生の子どもたちが座って絵を描いたり、折り紙を折ったり、商店街の方々や協力団体による野菜や魚、焼き鳥の販売、たくさんのリサイクル品が並べられ、この日のために協力を惜しまなかった方々の顔が見えました。開設を祝って多くの方たちが訪れる中、合間を見つけ、岩本さんにお話を伺いました。来春以降のNPO法人化を目指していますが、「おんくり」とは「感送り」=「人から受けた優しさを周りの誰かに送る(優しくする)」ことでお返しをする、そんな優しさの輪がどんどん広がる社会」を目指した言葉だそうです。6年間、大学教員として過ごすなか、コロナの影響もあって、若い人々のつながりがどんどん薄くなっていくような印象を持ち、これは若い人たちがばかりではなく、今の社会全体がそのように変化しているのではないかと危機の念



を持たれたとの事。内閣官庁の中に孤独・孤立対策室が作られるほど、人と人とのつながりの薄くなった今、気軽に立ち寄って誰かとお喋りができる、そんな場を目指しています。有志の大学生たちの協力を得て、この家で取り組むのは「おんくりカフェ」「子ども食堂・地域食堂」「フードバンク」「もったいないバザー」「さまざまな支え合い活動」「学生さんの企画支援」など。完全常設解放までは今しばらくお待ちくだ

さいとのことですが、他の団体とのコラボ活動も検討しているとのことですので、ご興味のある方は、090-5224-7068(岩本)まで、1月以降の開催日はinstagramで発信されます。楽しいことが始まると思った、と参加の小学生が言っていました。ほんとうにそんな期待が湧いてくる居場所となりそうです



左から2人目  
岩本さん♡

### 【オンライン学習・交流会】

Zoom を利用しました今回の学習・交流会は、12/8(木)18時より「フードバンク」をテーマに、NPO 法人フードバンクイコロさっぽろ代表・片岡有喜子様にお話いただきました。

前回テーマ「児童会館の子ども達」の際は、月曜午後に行いました。コロナ以前までは、札幌菊水の会議室に100名程が集まり、定期的に学習・交流会を行っていました時間帯が月曜午後でした。加盟団体の皆様の運営日となるべく被らないようにとの設定でしたが、今後のオンラインの場合、開催日時は固定せずに行っていこうと考えています。参加申込みを頂いていても、何らかの事情で不参加となった場合に

は、アーカイブにての対応も検討しています。

近年では、フードドライブやパントリーを行っていることも食堂も多くなっています。片岡さんのお話からは、フードバンクを始める事となった切っ掛けや、そもそもフードバンクとは、現状の社会はどうなっているのか、具体的活動内容、問題点、気を付けるポイント、対応方法、今後の課題など、多岐にわたる内容に多くの学びがありました。質疑応答でも、より細かく深い点にも話が及び、あっという間に予定の2時間が経ちました。片岡さんが実践されている事柄へ、参加された皆様の興味も尽きなく、グループに分けての交流時間を設けていたのですが、学習会のみで終わる程の有意義な内容となりました。片岡さんの「寄贈者＝フードバンク＝お渡し先」との関係性は対等でありたいという願いや、困難している人への「支援」を渡すだけでなく、問題解決の為への伴走する方法など、こども食堂の活動にも深く関わるお話も多くありました。「北海道支援情報ナビ」のご紹介もあり、皆様も是非ネット検索してみてください。

オンライン学習・交流会は、団体の代表者様のみならず、ボランティアを含めたスタッフの皆様も気軽にご参加できます。情報は、この通信も含め、HPで発信していますので、次回も是非注目してください！（遠藤博幸）

## 「おてらおやつクラブ」から

はじめまして、認定NPO法人おてらおやつクラブの深堀麻菜香です。おてらおやつクラブは奈良県に事務局を置く団体



（深堀さん 札幌市北区の覚王寺さんで）

ですが、私自身は札幌市に住んでおり、普段は自宅でリモートワークで仕事をしながら、週に1回、札幌市内のこども食堂や後志振興局の町村で学習支援のボランティアをしています。今回は、私が働いているおてらおやつクラブについて紹介させていただきます。

ですが、私自身は札幌市に住んでおり、普段は自宅でリモートワークで仕

おてらおやつクラブは、子どもの貧困問題の解決を目指している認定NPOです。お寺にお供えされる「おそなえ」を仏さまからの「おさがり」として、全国の子ども支援団体や、さまざまな事情で困りごとを抱えるひとり親家庭の子どもたちへ「おすそわけ」する活動を行なっています。現在は全国645団体が登録してくださっており、活動趣旨に賛同する全国約1,800のお寺(2022年12月現在)からお菓子や果物などの食品、日用品をお届けしています。

実際におすそわけを受け取った団体は、「箱を開けているんなものが隙間なく詰めこまれていて、宝箱みたいだと思いま



した」とか、「普段食べられ（内平住職とボランティアの方々の箱詰め）ないようなおやつを前に、子どもたちははしゃいで嬉しそうでした」と、日々の活動で活用してくださっています。

北海道では現在48団体が登録されていますが、約半分が札幌市の団体です。より多くのこども達に届けるためには、道内各地の団体の皆様のお力をお借りできればと思っています。年会費や配送費はかかりませんので、ホームページから是非ご登録ください。

また、おてらおやつクラブでは支援団体だけでなく、18歳未満のお子さんを育てているひとり親家庭の方にもおすそわけをお送りしています。みなさんの身近にひとり親家庭の方がいらっしゃいましたら是非おてらおやつクラブをご案内ください。今後も北海道内の子どもたち・支援団体の方々の一助となれるよう、頑張っていきますのでどうぞよろしくお願い致します。

おてらおやつクラブホームページ

<https://otera-oyatsu.club/>

団体登録ページ

<https://otera-oyatsu.club/support/>

今年もみなさまにはさまざまにお世話になり、どうも有難うございました。来年もどうぞよろしくお願い致します。みなさまのご健康とご活躍、子どもたちの幸せを心から願って。

（飯田澄子・編集）

こども食堂  
北海道ネットワーク

〒003-0803

北海道札幌市白石区菊水三栄4丁目1-3

こくみん共済COOP北海道会館4階

☎ 011-841-8601

<https://ks-hokkaido.net>

[info@ks-hokkaido.net](mailto:info@ks-hokkaido.net)